

＼美味しいもの、いっぱい♪／ 夏ギフトの試食会を開催しました



←大進食品

鈴木牧場↑

小林海苔店↑



現在、注文受付中(6/27〆切)の 夏ギフト試食会を6/7（土）に開催しました♪

当時は、約30名近くの参加となり活気のある会となりました。

生産者（鈴木牧場・大進食品・小林海苔店）のブースをはじめ今回参加が出来なかった生産者の商品は商品部職員がご説明をさせていただきました！わずかな時間でしたが組合員と交流しながら、少しづつ試食して美味しいを堪能できる機会となりました♪

2025年6月・7月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク：毎週木曜日 10～14時活動中です！（出入り自由）開催日は常総生協ホームページ（イベント一覧）をご覧ください。

6/21(土)第52回通常総代会
6/23(月)プラスチック部会

6/28(土)定例理事会
7/1(火)生協まつりプロジェクト実行委員会

○提携・協同・連帯企画●

7/6(日)宇都宮甲状腺検診(関東子ども基金)

生協ホームページ

各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します。

Instagram

- ★【注文番号: 500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号: 500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号: 500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号: 500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号: 500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円



(参加者の感想)

○親子で参加☆色んなものが試食できた 様々な味のドリンクの飲み比べができるよかったです。柑橘にもいろいろあり、娘はみかん・私はジューシーフルーツ、河内晩柑が好みでした。10代娘が龍馬のタタキをとても気に入っていました。木タテも美味しかったです。甲州生ジェラートと京の茶涼菓が美味しかったのでギフト以外でも時々バラで扱って欲しいです。
(柏市Fさん) 500047番(宅配) 荘焼き龍馬タタキ →
←500019番(宅配) 甲州生ジェラート



○あんぽ柿・煮魚と焼き魚のセット

常総生協の品物ですので、余計なものは入っていないなくて、素材の味が楽しめるきちんと美味しいものばかりなのですが、今回衝撃を受けたのが、大紀コーブファーム(奈良)さんの冷凍あんぽ柿の美味しさでした。冷凍の商品を解凍したものを試食させていただいたのですが、ひんやりしていて今の季節にはぴったりです。気のせいなのか、一度冷凍されたからなのか、ものすごく甘くてびっくり!!大きさもなかなかボリュームがあるので、食べ応えあります。自然のものですので、小さいお子さんにもいいと思います(ただしちょっと大きいので切ったりした方がいいかもしれませんね)。贈答だけでなく、個別配達もできるので、自分へのご褒美にもいいかもしれません。大きなあんぽ柿、まるまる1個食べたらきっと元気が出る事でしょう!

500008番(宅配) 405002番(班配達)



冷凍あんぽ柿↑

もう一つはダイマツ(米子市)さんの氷温熟成 煮魚・焼魚詰合せです。これはかれい醤油煮・さば味噌煮・銀鮭の塩焼きが個別にパックされているので、料理が面倒な人、単身で暮らしている方・働いていて忙しい方にもおすすめです。私の知り合いにも甘いものはちょっと...という方がいて、いつも贈る物を少し考えてしまうのですが、これだったら体にも良いし、味も優しく、手軽に食べられるのでおすすめです。そんなに沢山入っているわけではないので、食べきりやすいし、お値段もお手頃なのもうれしいです。機会があったら私も送ってみようかと思っています。(こちらはご贈答のみです) (守谷市Nさん)

500056番(宅配) 煮魚・焼魚詰合せ↑



毎月はじめ「1の回」は岩瀬さんの豚肉特集！



たくさん食べて寒暖差を乗り越える



5月～6月にかけて、日によって気温差が大きく作業している牧場スタッフにも寒暖差による疲労の色が見え隠れする今日この頃。豚も同じで、やはり急な寒暖差は生育にも影響してきます。そんな中でも、牧場の豚は食欲旺盛！左の写真は酵素を加えた自家製の発酵飼料です。このエサを豚ちゃんは美味しいそうに食べるんです！

一見お行儀よく食べてるよう見えますが（右写真）、豚ちゃん達にとってはまさに戦争状態！エサを取り合い、我先にとケンカします。たくさん食べて、元気を蓄える事が何よりも大切だと豚から学ばせてもらっています。



本格的な夏に向けて、しっかり食べて・しっかり寝て体調を整えていきたいと思います(^^♪
(牧場担当職員・横関)

【中間報告】「岩瀬牧場・養豚基金」に引き続きご協力をお願い致します

1月2回のニュースレターで立ち上げのお知らせをさせて頂いた「岩瀬牧場・養豚基金」ですが、6月12日時点で延べ2089口1,044,500円が集まりました。組合員の皆様のご協力に感謝致します。岩瀬牧場ならびに岩瀬さんの豚肉への応援に心強く思います。本当にありがとうございます。

「岩瀬牧場・養豚基金」

注文用紙6桁欄に【注文番号】と【口数】をご記入ください。

番号 【500257】

- 目標金額：130万円 (右記①②③の合計金額)
- 1口：500円
- 期間（締め切り）目標金額到達まで

急ぎ修繕や購入が必要な事項は、以下の3点でその為の資金が不足している状況です。

- ①豚の飲み水用の井戸のパイプ交換とポンプ洗浄費用
(現在水の出が悪く、人力で水を運んでいます)
- ②発酵飼料を作る搅拌機の修理
(部品の交換、一部補修が必要です)
- ③原種の親豚（雄・雌）の購入
(高齢化の為更新が必要です)

ミャンマー中部地震 緊急支援募金中間報告と追加募金お願い

3/28に発生したミャンマー中部地震の被災地支援について、5月3回Newsletterで呼びかけたところ現時点(6/12)で105,500円(延べ124人211口)が集まりました。ありがとうございます。引き続き7月21日~25日(7月5回注文)週まで受付けますので、ぜひご支援をよろしくお願いします。



■注文番号 **500253** JOSOたすけいあい基金
1口500円

■募金受付期間 7月5回週まで(7月21~25日受付)

■支援の流れ

- ・ミャンマーは情勢が不安定です。新聞報道にもありますが海外からの支援物資がなかなか届きにくい状況です。
- ・そこで今回は、現地で災害時の救援活動を行っている災害時救援支援(DRA)に送金し、現地で医薬品、食料、日常生活必需品などを調達してマンダレー等の被災地に届けます。
- ・現地からの報告がありましたら、改めてご報告致します。

常総生協組合員の皆さんへのメッセージ

(組合員 荒木義宏さん・かほるさんより)

マンダレーはいま雨季の最中です。豪雨が度々降るので、簡易テントやブルーシートでしか雨水をしのぐ事が出来ない被災者には厳しい状況です。また最近は医薬品、医療物資が極端に不足しており、清潔な飲料水の不足と相まって衛生環境の悪化が懸念され、ますます継続的な支援が期待されています。

DRAのメンバーは私達と25年以上にわたり商品開発を続けながら信頼関係を築いてきました。これまで2008年のサイクロンによる巨大高潮、その後度々起きた大水害の際に、自発的な被災者支援の積極的活動を行っています。引き続きみなさまの支援をいただければ幸いです。

東海第二原発差止訴訟 第6回口頭弁論・原告団総会報告

O4/25「第6回口頭弁論」での主張

1つ目は水蒸気爆発の脅威に対する対策が欠如していること。2011年3月の福島第1原発の1号機、3号機、4号機で起きたのは「水素爆発」。「水蒸気爆発」はもっと威力が大きく、「炉心溶融」によって引き起こされる可能性が十分に考えられるが、規制も対策もないこと。

2つ目は避難退域時検査は検査基準の根拠が無く、ゲートモニター※は実用性が欠如しているため渋滞・避難時間長期化を引き起こし避難を困難にすること。

※車がゲートを通過すると放射線量が測れる装置。避難経路中にあるサービスエリアに設置される

今回も傍聴席(98席)は満席。このこと自体「住民の根強い主張」です。引き続きご参考ください。

次回、第7回口頭弁論は
8/22(金) 14時から

関連して、、、

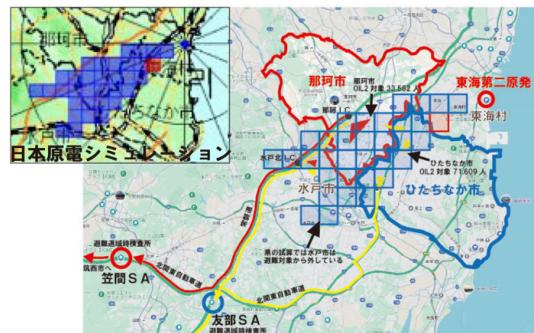
O6/6「東電株代訴訟」逆転敗訴の高裁判決

決。東京電力の株主らが東京電力に代わって、元役員の善管注意義務違反によって福島原発事故を発生させたとして賠償を求めていた「東電株主代表訴訟」で、東京高裁は旧経営陣に13兆円超の賠償を命じた1審判決を取り消す判決を下しました。落胆します。

O5/24東海第二原告団総会。振り返ると、国の原発への政策回帰(GX法案や第7次エネルギー基本計画)、福島事故をめぐる国賠訴訟・刑事裁判での国の責任を否定する最高裁判決、一連の原発差止訴訟の住民敗訴判決など、現在地は厳しい裁判情勢の中にあると言えます。総会で東海第二原告団は「悔いのないよう主張立証を尽くすこと」「原電の再稼働断念なしに裁判を漂流させない」と決意を新たにしました。

(報告 東海第二差止訴訟原告団 事務局木本)

避難退域時検査の問題

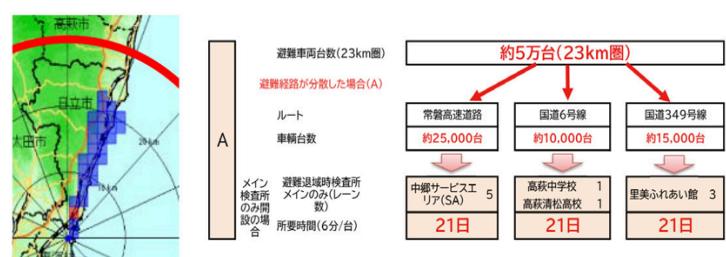


○避難帯域時検査にかかる日数
那珂市住民は笠置SAで10日、ひたちなか市住民は友部SAで20日。高速道路上で待機は1日が限度。



○UPZ住民の避難・一時移転(OIL1・2)の判断は原子力施設内でガスマスクと防護服を着ける汚染レベル

○住民・車両の除染・持ち出し基準は放射線管理区域基準の30倍
放射線管理区域からの持ち出し基準 4ベクレル/cm²
避難退域時検査・簡易除染基準 120ベクレル/cm²



○日立市住民は3ルートで分散避難しても検査に21日を要する。

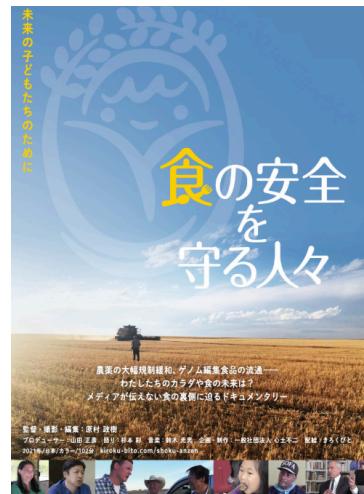
常総生協に関わるみなさん、こんにちは(^^)
ハチドリ仲間(南米・先住民の昔話、森の火を消そうと
小さな嘴・くちばしで水を運ぶハチドリのお話より)をつなぐ
新しいコーナー「ハチドリ・レター」です。
今週は理事の森さんからです♪



映画「食の安全を守る人々」上映会と小講演会 {安全な食べ物をいただくために私がしていること}

5月24日、取手市福祉会館小ホールでの映画「食の安全を守る人々」上映会+小講演会に参加しました。主催は「食と農を考えるとりで未来プロジェクト」、代表の根本和彦さんは米農家で、食料や農業のことを持て真剣に考えたいと、昨年このプロジェクトを結成されました。

映画は子どものひどいアレルギーや病気の原因に、農薬や遺伝子組み換え食品が関与していることを知り、アメリカで大きな運動を創設したゼン・ハニーカットさん、基準以上に農薬が残留しないよう、農薬会社のモンサントが各国政府に残留基準の引き上げを要請していたことを明らかにした河田昌東(まさはる)さん、除草剤ラウンドアップによってがんになったと訴え、裁判で勝訴したカリフォルニア州のドウェイン・ジョンソンさん、無償でオーガニック給食を実施している韓国、有機無農薬の米作りの伝道師稻葉光圀さんなど興味深い映像満載でした。



この「とりで未来プロジェクト」と次回(2026年)全国オーガニック給食フォーラム開催地である小山市の視察(2/26)に同行した縁があり、上映会の後に10分間、安全な食べ物のことや常総生協についてお話ししました。

- ・小さな生協で良心的な小規模生産者を大切にしていること
 - ・米価がとても安かった25年前、1俵22200円の米作り(昨今の米不足で逆転したが、当時は市価より高い値段設定)を提案、めぐみちゃん米が開始。
 - ・味を重視した希少種の豚を安心・安全な方法で飼育している生産者との付き合い。
 - ・無農薬野菜、無農薬のお茶、国産小麦のパンや県内で生産された瓶の牛乳がカタログに載っていること。
- などです。

(理事 森博子)

組合員参画プロジェクト プラスチック部会の開催(6/23)お知らせ

6月23日(月) 10:00から本部組合員室で第1回プラスチック部会を開きます。

プロジェクトに関心を持たれた方が20名程いらっしゃいますので、開催直前となってしましましたがお知らせします。興味のある方はぜひお集まりください

→参加ご希望の方は 6/20(金)までに お電話(0297-48-4911 稲垣まで)か、
ネット注文画面の意見欄入力フォーム(右のQRコード→)
へ「6/23プラスチック部会参加します」とお願いします。



まず皆さんからプラスチック包材、製品に関して気になっていること、やってみたいこと、プラスチック削減のため心がけていることなど伺いたいと思います。そのほかなんでもいいです。おしゃべりしましょう。昨年のピッキング見学や専務に伺ったことなどを報告します。これから部会のやり方についてもご相談したいと思います。 プラスチック部会 担当理事 森博子